



現場から（最近のニュースから）

新しい幸せ



人は、自分で意識していなくても、どうしたら、不安なく、なにも心配せず、争いもなく、ゆっくり落ち着いて生活できるのかと、幸せを求めて創意工夫を重ねています。これは、世界各国、どこでも同じことで、それぞれの国の人々がその国の社会が定義した「幸せ」を求めて努力していると言えるでしょう。アメリカは、個人主義、資本主義、そして支配という 3 つの文化的な力があり、それが教える幸せを目標にしているということです。しかし、それでは幸せになれないと指摘するステファニー・ハリソン氏の新著『New Happy: Getting Happiness Right in a World That's Got It Wrong』からの記事がありました。

ハリソンさんは、幸せになると思ったすべてを手に入れたのに、完全にみじめだと感じてしまったそうです。そこで、自分が幸せになるために必要だと思っていたことは間違っていたのではないかと考えて、社会が定義している幸せを「オールド・ハッピー」と名付けて、徹底的に解きほぐしていったということです。「オールド・ハッピー」の信念から出て、新しい考えを取り入れる変化からはじめたそうです。オールド・ハッピーは「あなたは不十分。特定の外部目標を達成して成功しなければならない。すべてを自分ひとりでやらなければならない」と教えるそうですが、そうではなく、「あなたは、そのままの自分で価値がある。失敗や成功があなたを定義するのではない。だれもひとりでは何も成し遂げられなく、互いに支え合い、他者と深く結びついている」ということに気づいて、オールド・ハッピーが出て、新しく考えを切り替えたなら良いということです。

そのようにしてオールド・ハッピーの人生から解き放たれると、本当の幸せの秘訣が分かると言われています。それは、他の人を幸せにする必要があり、お互いに助け合う方法を見つけるのだということです。そして、自分がどんな存在か知り、自分が今まで学んだことを知恵として、才能はひとりひとり違うので、それを他の人のために使うということです。そうすれば、より良く、より公正で、より思いやりのある世界になっていくということです。社会の利益のために働くことが、自分自身の最高の幸せを促進するということです。（9 月 23 日 LIFEHACKER<幸せについて学んだことはすべて嘘。「新しい幸せ」を手に入れる秘訣>より）

日本にも「こうすれば幸せ」という枠があります。そこから抜け出して、他の人を助けるなら、本当に幸せになるのでしょうか。実際に社会の中で、「相手のために」生きて来た人は、幸せそうに見えます。スポーツや芸術、音楽で、他の人を励ますためにがんばって来たという話もよく聞きます。すばらしいなと思います。しかし、それで本当にその人はずっと幸せで、また、社会は良くなったのでしょうか。どんなに相手のことを考えても、それが相手によく思われない場合があります。結局、自己満足に過ぎないという結果になる場合もあります。なぜでしょうか。それは、社会の利益のために働くことでは解決できない大きな問題がすべての人にとって、その問題から抜け出さない以上、なにをしても、どんなに良いことをしても、結局は首を絞める結果にしかならないからです。どうしようもない問題があることについて、また、その解決について、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください